



クリストファー・A・シンガー

エグゼクティブ バイス プレジデント、
COO 兼国際部門プレジデント

PhRMA

米国研究製薬工業協会

クリス・シンガー氏は、政府、民間、その他の国際経験を含め、製薬業界において幅広い経歴を持っている。ブリストル・マイヤーズ・スクイブで製薬業界に入り、その後、ファイザー、グラクソスミスクラインに勤務した。またシンガー氏は、連邦政府の米国保健福祉庁（HHS）およびアメリカ合衆国議会の専門職員としての職務経験も持っている。

シンガー氏は、現在、米国研究製薬工業協会（PhRMA）の COO として、協会事業・活動の日々の運営管理を担う立場にある。その他にも PhRMA の代表や CEO に対する戦略の方針や業務課題に関する情報提供や助言、加盟企業に対する適切な支援や連携へのアクセスの確保、外部団体において PhRMA を代表して活動を行っている。PhRMA は、米国で事業を行う主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業 34 社を代表する団体である。2008 年、新薬研究開発に対する PhRMA 加盟企業の投資実績は約 503 億ドルに上っている。

PhRMA 着任前の前職では、ブラジルのリオデジャネイロに本拠地を置くグラクソスミスクラインの中南米担当副社長兼地域担当責任者を務めた。同社に勤務した 13 年の間に、対政府関係折衝および商業分野において次第に重職を務めるようになった。

連邦政府時代には、米国議会の歳出委員会の専門職員を務め、国立衛生研究所（NIH）、食品医薬品局（FDA）など数多くの政府関係機関の政策および予算の監督を行った。また保健福祉省（HHS）の医政アナリストとして、「連邦メディケア・メディケイド・プログラム」への加入や医師や病院への償還をつかさどる政策および規制の策定を行った。シンガー氏が初めて公職に就いたのは、将来の連邦サービスを担う管理職の養成を目的とした「大統領研修員プログラム」に参加したことがきっかけである。

専門家としての職務経験に加え、同氏はノースキャロライナ州乳児死亡率対策委員会、プエルト・リコのサンファン子供病院理事会、PhRMA の立法委員会、執行委員会、ラテンアメリカ実行委員会など、様々な委員会の委員を歴任してきた。

シンガー氏は、衛生行政の修士号および経済学の学士号を取得している。また、ハーバード大学、デューク大学、ノースキャロライナ大学の各ビジネススクールで管理職経営コースを修了している。

シンガー氏はオレゴン州出身。ミシェル夫人との間に 3 人の子供をもうけている。

(2008 年 9 月現在)